

**第2期南伊豆町国民健康保険  
データヘルス計画（中間評価報告書）**

**南伊豆町**

## 1 中間評価・見直しの考え方

国は、「日本再興戦略（平成 25 年 6 月 14 日閣議決定）」において、すべての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として、「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めています。

当町が策定した「第 2 期データヘルス計画（2018 年度～2023 年度）」においては、計画の半期終了後にあたる令和 3 年度に中間評価・見直しを行うこととしており、厚生労働省の「データヘルス計画作成の手引き（追補版）」を参考に、計画策定時に課題として抽出された各項目について、各種保健事業の進捗と目標の達成度を確認し実施しました。

したがって、中間評価では課題の再抽出は行わず、個々の保健事業について過去 3 年間の実績値に基づき評価・見直しを行いました。

## 2 保健事業別中間評価

### 【評価区分】

うまくいっている	どちらかといえばうまくいっている	どちらでもない	どちらかといえばうまくいっていない	うまくいっていない
◎	○	△	▲	×

### (1) 特定健診に関する事業

事業名	指標	本計画における目標値	達成状況			評価	評価の理由
			平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度		
特定健診	受診率	60%	42.5%	40.7%	23.7%	×	受診率がかなり低下し、目標値をかなり下回っている。

【課題】

- ・治療中の方の多くは健診の必要性を感じていない。
- ・特定健診並びに医療機関にも受診していないため、健康状態が把握できていない方がいる。
- ・40歳から60歳の現役世代の受診率が低い。

【評価に基づく方向性の見直し】

- ・集団健診を主に実施している本町では、新型コロナウイルスの感染状況により、健診の延期、中止が想定されるため、今後の状況も不透明である。近年の受診率（令和2年度（23.7%）、令和3年度（R4.1.11 現在暫定値 26.6%））の大幅な低下を考えると、過去の実績を目標値とし、次計画で従来の目標値を目指していく。（新規）

≪特定健診受診率 暫定目標≫

年度	本計画 目標値	中間評価による暫定 目標値
令和4年度	55%	40.7%
令和5年度（最終）	60%	42.5%

- ・ナッジ理論を活用し意識啓発に繋がる周知文や、対象者を分析し特性に合わせた受診勧奨通知の送付。（新規）
- ・健診無関心層への働きかけのため、インセンティブ事業の継続及び普及啓発を図る。（継続）
- ・40歳前から特定健診に関心を持ってもらえるよう、若年者健診の充実を図る。（継続）
- ・担当医からの受診勧奨若しくは健診項目について提供の協力を仰ぎ、受診率の向上につなげる。（新規）

（2）保健指導に関する事業

事業名	指標	本計画における目標値	達成状況			評価	評価の理由
			平成30年度	令和元年度	令和2年度		
特定保健指導	実施率	60%	73.0%	65.9%	63.8%	○	目標値は達成しているが、実施率が年々低下している。

【課題】

- 積極的支援の脱落者が多いため、指導を行うスタッフの確保及び支援方法を見直す。
- 毎年対象となっている方や保健指導を拒否される方へのアプローチの仕方。

【評価に基づく方向性を見直し】

- 特定健診当日の面談実施等、早い段階からの介入を図る。(継続)
- 健診結果説明会を開催し、結果を返却しながら保健指導を実施する。(継続)
- 利用者が参加しやすい時間帯に保健指導を実施する。(継続)

(3) 重症化予防に関する事業

事業名	指標	本計画における目標値	達成状況			評価	評価の理由
			平成30年度	令和元年度	令和2年度		
重症化予防	HbA1c 7%以上の者の割合の減少	1.0%	3.2%	3.7%	3.1%	△	目標値を達成していないが、前年より減少している。
	高血圧Ⅱ度以上の者の割合の減少	4.8%	10.4%	8.9%	18.8%	×	目標値を達成しておらず、前年より大幅に増加している。
	LDL コレステロール 180 mg/dl 以上の者の割合	2.4%	5.2%	4.5%	6.6%	×	目標値を達成しておらず、前年より増加している。
	メタボリックシンドローム該当及び予備軍該当者の割合	25%	25.5%	21.6%	14.9%	◎	目標値を達成しており、前年値より減少している。

	における減少率						
--	---------	--	--	--	--	--	--

【課題】

- 未治療者や服薬コントロール不良者が多い。
- スタッフの確保が出来ず、充実したフォローアップが出来ない。

【評価に基づく方向性を見直し】

- 委託等によるスタッフの充実を図る。(新規)
- 医療機関、特定健診共に未受診を抽出し、電話等にて受診勧奨を行う。また、その後医療機関の受診の有無について確認し、再勧奨を行う。(新規)
- 「賀茂地域糖尿病等重症化予防共同実施要領」を基に事業を実施し、対象者を支援する。(新規)
- 地域の健康課題を意識した保健事業の見直し。(継続)
- 指導後に対象者の行動変容を確認する。(継続)

(4) 医療費適正化に関する事業

事業名	指標	本計画における目標値	達成状況			評価	評価の理由
			平成30年度	令和元年度	令和2年度		
ジェネリック医薬品の利用率	利用率の増加	80%	76.7%	80.0%	81.0%	◎	目標値を達成しており、前年値より増加している。

【評価に基づく方向性を見直し】

- 医療費通知（年2回）の送付。(継続)
- ジェネリック医薬品希望シールの配布。(継続)
- 頻回受診・重複受診者についてレセプト等で確認し、保健指導やポリファーマシー（多剤併用）の回避、お薬手帳を一冊にする等の指導を行う。(継続)

## (5) 地域包括ケアの構築に関する事業

### 【課題】

- ・要介護認定者の医療の状況では、心疾患、高血圧に続き、筋骨格系疾患に伴う受診が多い。

### 【方向性の見直し】

- ・寝たきり予防、閉じこもり予防のための筋力向上やフレイル予防の事業の充実。(継続)
- ・地域における支え合いの推進。(継続)
- ・在宅医療と介護の連携推進、介護予防と健康づくりの事業への取組等、関係部署間の連携を図る。(新規)
- ・一体的実施を意識した地域包括ケアシステムの構築。(新規)

## 3 今後の計画の評価・見直し

---

中間評価を踏まえた目標の達成状況及び実施状況に関する総合的な評価は、計画の最終年度（2023年度）に実施します。また、各事業の実施状況等によって、取組内容やスケジュール等をP D C Aサイクルに沿って適宜見直します。

## 4 まとめ

---

中間評価では、第2期データヘルス計画全体並びに計画に盛り込まれた個別保健事業の目標として適切な指標が設定されているかについて、実績値の過去2～3年の推移から確認を行いました。データヘルス計画・個別保健事業と共に目標値がすでに達成、もしくは順調に推移しており達成が概ね見込まれる場合には、現状維持としました。一方、目標値より実績値が大きく下回っている等、達成が困難であることが想定される場合には、事業実施上の課題を振り返り、体制や具体的な方法について改善に向けた方向性を検討し、事業によっては実現可能なレベルに目標値の見直しを行いました。

今後最終年度まで目標値達成に向け、今回の中間評価を踏まえた取り組みの実施や各関係部署と連携し、課題を共有しながら保健事業を推進していきます。